

リニューアルの桑名 アスコン火入れ式

松岡建設と日本道路

松岡建設（松岡伸年社長）

と日本道路は、リニューアルした合材プラント「桑名アスコン」の火入れ式を、三重県桑名市の現地で開いた。関係者44人が見守る中、松岡社長、久松博三日本道路社長、三崎勇治桑名アスコン共同企業体所長が火入れを行った。

式典後、松岡社長は「今後も時代の変化を見据えてプラ

ント事業にまい進していく」と述べた。プラントを施工した日工の辻勝社長は、4月か



左から三崎所長、松岡社長、久松社長

ら既設の解体工事に着手し、無事故・無災害で工事を終えたことなどを紹介。三崎所長



は「新プラントは多品種の出荷に対応できる。周辺環境に配慮し、事業を展開する」と抱負を語った。

桑名アスコンは1978年に松岡建設が開設した金井合材工場が起源。96年に日本道路とJVで運営を開始した。新プラント本体のミキサー容量は2・0トバッチで、出荷能力は1時間当たり最大120ト。脱臭炉を設けるなど周辺環境に配慮した。場所は同市東金井掛樋589―24の敷地9913平方メートル。

